

A stylized, light blue graphic resembling a swirl or a stylized letter 'S' serves as a background for the title text.

令和5年度 当初予算の概要

伊豆市

1 予算の規模

全会計

(単位: 百万円、%)

区分	R5当初	R4当初	増減	伸率
一般会計	22,796	21,430	1,366	6.4%
特別会計	8,443	8,500	▲57	▲0.7%
企業会計	2,972	2,602	370	14.2%
合計	34,211	32,532	1,679	5.2%

**一般会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の
予算額が合併以降最大に！**



1-1 歳入の特徴(一般会計)

(単位:百万円)

区分		R5当初 A	R4当初 B	増減 A-B
自主財源	市税	4,088	4,055	33
	寄附金	1,210	1,000	210
	繰入金	2,254	1,443	811
	その他	1,203	1,250	▲47
依存財源	地方交付税	5,468	5,183	285
	国庫支出金	2,982	2,338	644
	県支出金	1,231	1,308	▲77
	市債	3,074	3,679	▲605
	交付金等	1,286	1,174	112
合計		22,796	21,430	1,366

【市税】 +3,300万円

企業収益の改善に伴う法人市民税や入湯客数増加見込による入湯税の増

【地方交付税】 +2億8,500万円

前年度交付実績と国の地方財政対策による普通交付税の増

【国・県支出金】 +5億6,700万円

＜国庫支出金＞新中学校整備事業や新リサイクルセンター整備事業に伴う増

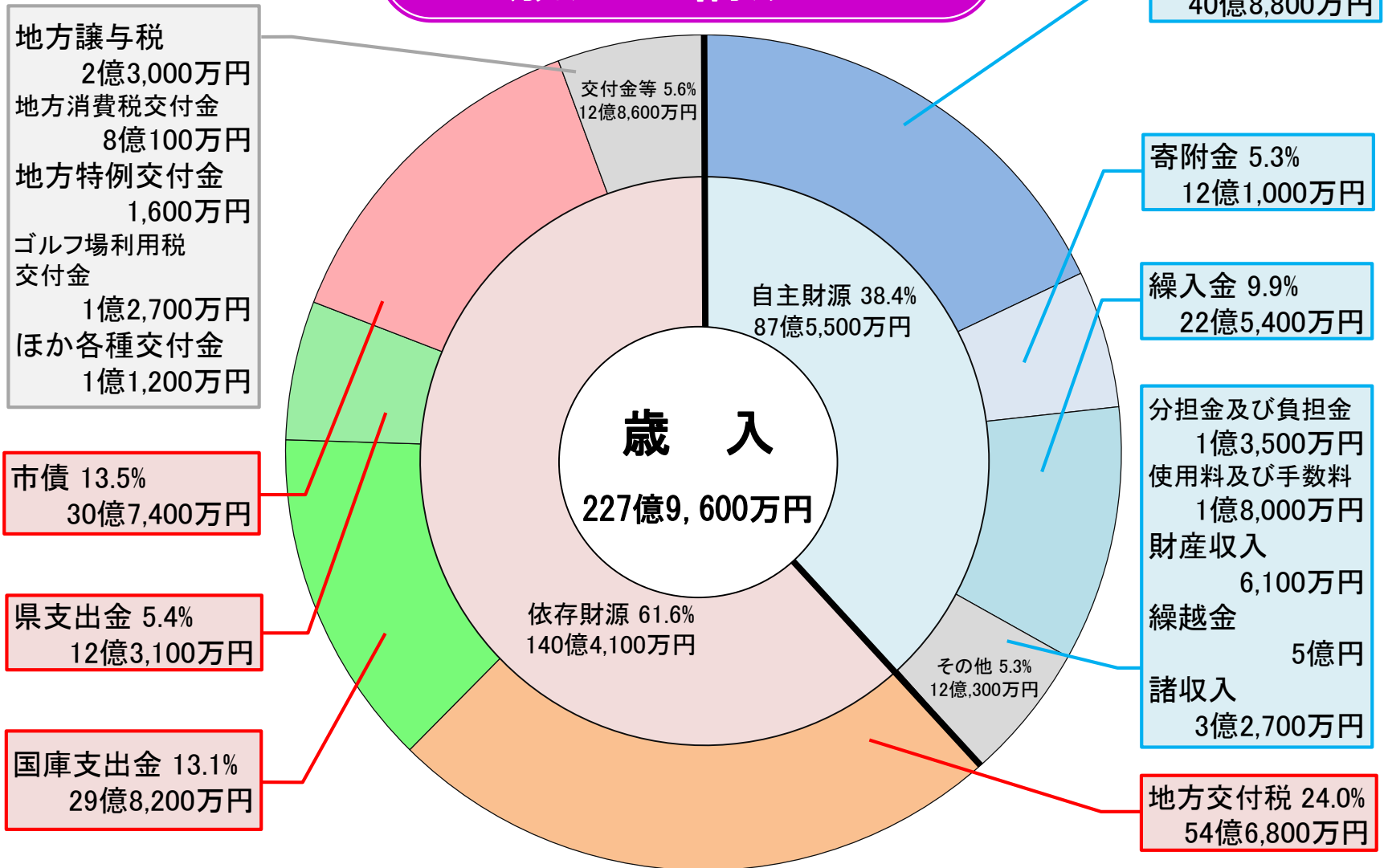
＜県支出金＞大平中間土場整備事業の完了による林業・木材産業構造対策事業補助金の減

【市債】 ▲6億500万円

・広域廃棄物処理施設整備事業の完了による減や国の地方財政対策に基づく臨時財政対策債の発行抑制により減



歳入 構成比



1-2 歳出の特徴(一般会計)

(単位:百万円)

区分		R5当初 A	R4当初 B	増減 A-B
経常的経費	人件費	3,021	2,969	52
	扶助費	2,467	2,372	95
	公債費	1,881	1,777	104
	その他(経常的経費)	7,062	7,209	▲147
投資的経費	補助事業	4,431	2,546	1,885
	単独事業	1,256	1,915	▲659
	災害復旧費	1	1	0
その他		2,677	2,641	36
合計		22,796	21,430	1,366

【扶助費】 +9,500万円

・障害福祉サービス費の増、障害児通所給付費の増など

【公債費】 +1億400万円

・R1年度実施事業(新こども園建設事業、道の駅整備事業)の財源とした市債の元金償還の開始に伴う増

【その他(経常的経費)】▲1億4,700万円

＜補助費等＞広域廃棄物処理施設の整備完了による伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合負担金の減

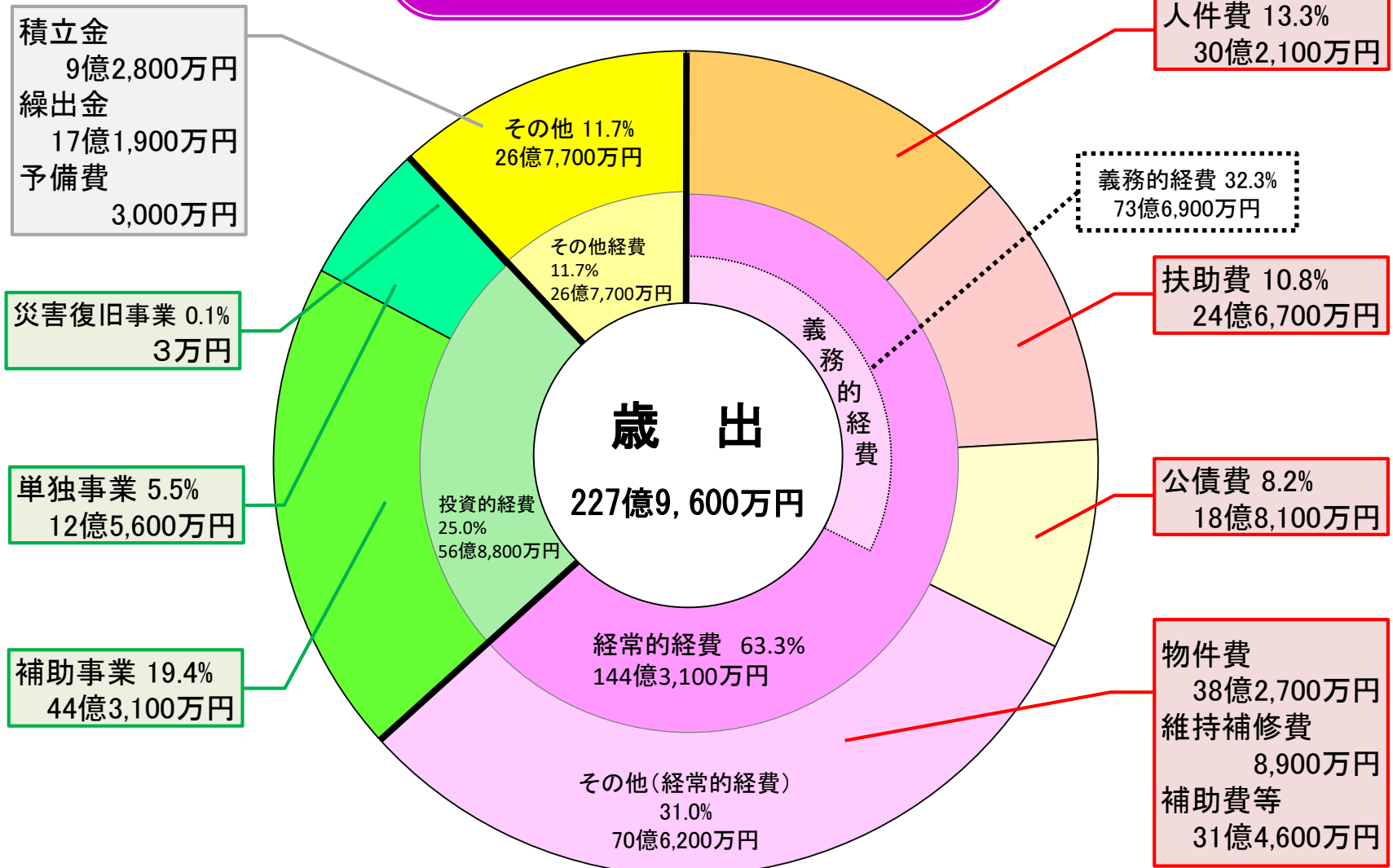
【投資的経費】 +12億2,600万円

＜補助事業＞新中学校整備や松原公園津波避難複合施設整備、(仮称)日向公園整備事業費の増

＜単独事業＞公的病院移転新築事業費補助金の減



歳出(性質別) 構成比



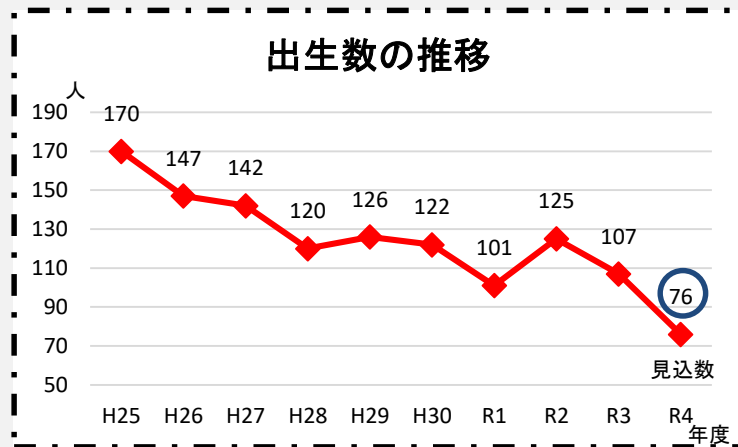
2 重点的な取組み

伊豆市新時代の幕開けに向けた予算編成

～「ポスト(ウィズ)・コロナ」「ポスト平成の大合併」を見据えた市政運営の礎づくり～

令和7年度以降の伊豆市は新たなステージに。

- ・伊豆市政20周年の令和6年度末をもって、平成16年の4町合併以来の新市建設計画に基づくまちづくりは一区切りを迎える。
- ・令和7年度以降は合併特例債の発行ができなくなり、財政規模が急激かつ大幅に縮小となる見込み。
- ・令和7年は、団塊の世代が全員75歳以上となる（いわゆる「2025年問題」）。また、令和7年には、市の老年人口が生産年齢人口を上回ることが見込まれ、労働力不足をはじめとする市内産業への甚大な影響が懸念される。
- ・ここ数年で出生数が大幅に減少しており、令和4年度の出生数は80人を下回る見込み（少子化緊急事態）。



令和7年度以降の「伊豆市新時代」の幕開けに向けて、様々な社会・経済問題に即応するための施策に果敢に取り組むとともに、第2次伊豆市総合計画後期基本計画を着実に推進する。



第2次総合計画の体系

持続可能な市政運営

本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応

人口減少
抑制戦略

人口減少
適応戦略

将来にわたる
安定的な行財政
運営の堅持

重点目標

1. 少子化対策と次代
を担う人材の育成

2. 安全で心地よい
生活環境の創出

3. 産業力の強化

4. まちへの誇りの醸成
とブランド力の向上

5. 魅力あふれる拠点の
創造と交通体系の確保

6. 将来にわたる安定的な
行財政運営の堅持

政策

結婚から子育てまで切れ目ない支援

教育の充実

福祉・医療の充実

安全・安心なまちづくりの推進

地域産業の発展による市内経済の活性化

豊富な農林水産資源の再構築

人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現

伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成

未来を切り拓くためのまちづくり

地域力の向上

安定した歳入の確保

徹底した歳出の抑制



3 重点事業

1. 少子化緊急対策

総事業費6,048万円

令和4年度の出生見込数が100人を大きく下回る76人という危機的な状況に即応するため、これまで取り組んできた、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまでの各ステージを通じた切れ目のない支援を大幅に強化する。

出会い・結婚支援

★【新規・拡充】出会い・婚活支援事業
360万円

- ・民間事業者と連携した婚活イベントを開催(年2回⇒3回に拡充)

【新規】婚活支援補助事業 24万円

- ・婚活希望者に対し、県と市町が運営する「ふじのくに出会いサポートセンター」に登録する際に必要となる年会費の一部を補助

出会支援事業補助事業 30万円

- ・出会いの場創出のため婚活イベントを開催する市内事業者に対し補助金を交付

妊娠・出産支援

★【拡充】不妊・不育治療医療費助成事業
800万円

- ・不妊・不育治療に係る医療費に対する助成額の上限を10万円から40万円に拡充

★【拡充】妊産婦サポート事業165万円

- ・産後ケア事業、産前産後寄り添い事業、産前産後ママ応援事業を継続実施。
- ・ベビープログラム事業に、従来の第1子に加え、第2子を出産した母親を対象としたプログラムを追加

★【拡充】出産準備金支給事業
1,100万円

- ・妊娠、出産の準備に係る負担軽減を図るための「出産準備金」を一人につき4万円から10万円に拡充

【拡充】出産お祝い品配布事業101万円

- ・出産届提出時に配布する出産お祝い品にこども商品券5,000円分を追加

子育て支援

★【新規】第2子保育料無償化事業732万円

- ・従来の第3子以降に加え、第2子の0～2歳児の保育料を無償化

★【新規】伊豆っ子未来応援金支給事業
1,855万円

- ・伊豆市で育った子どもに対し、小学校入学に合わせて子育て応援金を支給。(第1子:5万円、第2子:15万円、第3子以降:20万円)

★【新規】新生児市産材活用祝い品配布
事業160万円

- ・新生児に対し、市産材を活用した記念プレートを配布

【新規】子育てママ交流支援事業61万円

- ・子育てママの交流の場として、生きいきプラザ広場を活用したイベントを開催

★【拡充】こども園体験付きお試し住宅事業
659万円

- ・1カ月単位で、こども園の体験入園と住宅の貸出を行う「山のお試し住宅」を整備



2. 総合計画を着実に推進するための施策

重点目標1 少子化対策と次代を担う人材の育成

結婚から子育てまで切れ目ない支援

少子化緊急対策 6,048万円(再掲)

教育の充実

★新中学校整備事業 17億8,178万円

・修善寺中・中伊豆中・天城中の3つの中学校を統合した新中学校の建築工事
(令和7年4月開校予定)

【拡充】実学教育支援事業 245万円

・外部のプロフェッショナル人材や地域で活躍する人材による講演や講話の実施や、森林環境教育、ふるさと学級の実施などにより、多様な生き方を学ぶ機会を創出



▲令和7年度開校 伊豆中学校(案)のイメージ



◀ふるさと学級の様子

【拡充】土肥地域高校魅力化支援事業 1,192万円

・伊豆総合高校土肥分校下宿者への下宿費補助
・(一財)地域・教育魅力化プラットフォームを活用した「地域みらい留学」による
県外生徒の募集



重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出

福祉・医療の充実



▲手話言語教室の様子

【拡充】要支援者災害時避難事業 415万円

- ・災害時に1人で避難することが困難な要支援者に対し、避難行動計画を個別具体的に作成
- ・被災した市民の早急な生活支援のための建物被害調査等をデータ化するシステムを新たに導入

★【新規】2025年デフリンピック開催準備事業 41万円

- ・2025年11月に日本で開催される予定のデフリンピックに向けたおもてなし体制の強化のため、市民や子どもを対象とした手話言語教室を開催

★【新規】中伊豆交流センター再整備事業 4,166万円

- ・中伊豆交流センターの耐震性能不足箇所を解体し、新たに白岩の湯の受付、トイレ、待合休憩スペース等を新設

【拡充】げんきプロジェクト事業 121万円

- ・「減塩(げ)」「運動(ん)」「禁煙(き)」の3つを柱とした健康づくりを目指すげんきプロジェクトを推進



▲げんきプロジェクト『ノルディックウォーキング』の様子

【新規】重症化予防事業 858万円

- ・生活習慣病を起因とする糖尿病患者に対し、早期の生活習慣改善に向けた保健指導を実施
- ・特定保健指導の対象者に対し、民間事業者のシステムを活用した重症化予防教室を開催
- ・生活習慣病予備軍を対象として、運動習慣を定着させるため、市内フィットネス施設の利用料を補助



重点目標2 安全で心地よい生活環境の創出

安全・安心なまちづくりの推進

★松原公園津波避難複合施設整備事業 7億5,580万円

- ・土肥地区における防災機能と観光機能を併せ持った津波避難複合施設の整備工事
(R5年度完成予定)

★(仮称)日向公園整備事業 5億6,339万円

- ・日向地区における防災機能を兼ね備えた公園の整備工事
(R8年度完成予定)

★【新規】危険空き家等対策補助事業 510万円

- ・適切な管理が行われていない危険空き家等の除去に対し、除却後の固定資産税の負担軽減のための政策減免を実施しつつ、除却費用に対する補助を実施



▲松原公園津波避難複合施設整備完成イメージ

【新規】車両一体型給水タンク購入事業 2,198万円

- ・災害時や断水時における迅速な給水活動を実施するため車両一体型給水タンクを購入

★リサイクルセンター整備事業 9億7,415万円

- ・新ごみ処理施設整備に伴い廃止される伊豆市清掃センター焼却施設を解体するとともに新リサイクルセンターを整備

【新規・拡充】ゼロカーボン推進事業 702万円

- ・住宅用蓄電池システムの設置に対する補助に加え、住宅用電気自動車充電システムの設置に対する補助を追加
- ・生ごみ処理容器の購入に対する補助に加え、生ごみ処理機の購入に対する補助を追加
- ・脱プラスチックを啓発するため、麦ストロー等を活用し、市内観光事業所等と連携したPRを実施
- ・令和4年6月に宣言した伊豆市ゼロカーボン戦略を推進するための実行計画の作成



重点目標3 産業力の強化

地域産業の発展による市内経済の活性化

★東京2020レガシー創出事業 2,289万円

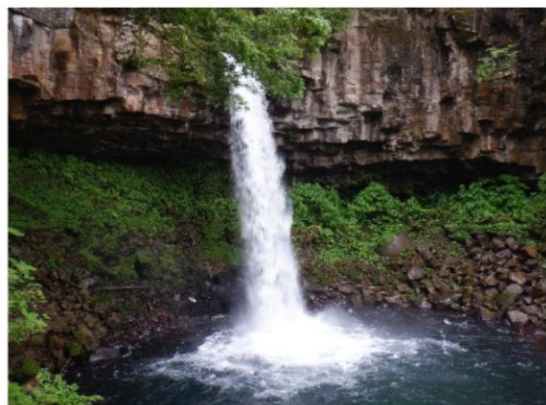
- ・オリパラ競技会場の聖地化に向けた市民のサイクルスポーツセンター利用促進
- ・ジャパン・マウンテンバイク・カップ大会の開催(県・周辺市等との共催)
- ・自転車を活用したまちづくりに向けたサイクリングツアー造成支援や自転車購入に対する補助

【拡充】伊豆市版DMO事業 1,173万円

- ・DMOによる観光コンテンツの造成・磨き上げ、商品化、ガイド育成
- ・ウェブ上でコンテンツの募集・予約から決済まで行える伊豆市観光総合サイト「いずたびpick Up! (令和4年度制作)」を活用した伊豆市版DMO観光DX化事業の展開



▲ジャパンマウンテンバイクカップ



▲萬城の滝

★【新規】萬城の滝周辺整備事業 9,926万円

- ・萬城の滝に新たな展望デッキを整備
- ・萬城の滝来訪客のための駐車場を整備

★【新規】ふるさと観光地魅力化事業 3,000万円

- ・市内観光地の魅力向上やブランド化を促進するため、ふるさと納税を活用し、市内4地区のライトアップ整備を実施
(R6年度以降は、毎年1地区ずつ魅力化整備を実施)

事業継承促進事業 205万円

- ・事業承継を支援するため、市内金融機関と連携し、セミナーを開催するほか、事業承継に要する各種費用を補助



重点目標3 産業力の強化

豊富な農林水産資源の再構築

★【新規】わさびの郷構想推進事業 8,037万円

- ・世界農業遺産に認定された伊豆わさびの情報発信拠点として、中伊豆八岳地区において、わさび生産の歴史、景観、世界農業遺産等に関する博物・展示機能を有する資料館を新たに整備
- ・「伊豆わさび」の地理的表示保護制度(GI)登録の推進

【新規・拡充】森林環境譲与税活用事業 9,193万円

- ・新中学校建設工事、牧之郷駅周辺の整備工事等における市産材の活用
- ・市内住宅建築における市産材の活用や未整備森林の整備に対する補助 など



▲山間地に広がるわさび田



【新規】農業経営基盤強化事業 1,000万円

- ・市内農地所有者に対する今後の農地利用のアンケート調査や地元協議を行い、10年後の農地利用の在り方に関する地区計画を策定

【拡充】農地維持対策補助金事業 313万円

- ・遊休農地の発生防止・解消を図るとともに、農地の有効活用や流動化を促進するため、経営規模を拡大し生産性の高い農業経営を目指す農用地の借り手農家に対して補助を実施
- ・市が推進する低農薬・低化学肥料で栽培する特別栽培米を生産した場合の加算を新たに拡充



重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現

★【拡充】移住定住促進事業 9,131万円

- ・中学校以下の子を持つ世帯やアクティブシニア等の移住を促進するため、従来の若者定住補助金制度を大幅に見直し
(①補助対象年齢制限を撤廃、②ひとり親でも補助可、③アクティブシニアへの補助を追加、④中古住宅補助率の見直し)
- ・空き家バンクの利用促進や空き家リフォームのための補助の実施

★【拡充】こども園体験付きお試し住宅事業 659万円(再掲)

- ・移住希望者に市内のリアルな生活を体験してもらうため「海のお試し住宅」に加えて、1カ月単位で、こども園の体験入園と住宅の貸出を同時に提供する「山のお試し住宅」を八幡地区に新たに整備



▲Izu you Connectorの皆さん

移住 「Izu you Connect」事業 814万円

- ・移住情報センターの土曜日開設に加え、R4年度に発足した先輩移住者チーム「Izu you Connector」との連携などにより、多種多様な移住相談への対応を強化



▲キャンプモニターイベントの様子

伊豆キャンどっと混む ★「IzuCamp.comProject」事業 2,132万円

- ・コロナ禍で急速に伸びつつあるキャンプブームを契機として、『キャンプ王国 伊豆市』を目指し、ポスト(ウィズ)コロナ時代の伊豆市の新しいまちづくりを推進
- ・市内キャンプ場の予約DX化やキャンプ情報発信ポータルサイトの構築、キャンプイベント等を実施

【拡充】地域おこし協力隊推進事業 7,568万円

- ・地域の活性化や産業振興を推進するため、移住部門、自転車部門、農業振興部門、林業振興部門等において、新たに7名の地域おこし協力隊を登用
(令和5年度は計16人が隊員として活動予定)



重点目標4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成

★【新規】伊豆文学祭関連事業 1,000万円

- ・「東アジア文化都市2023静岡県」の一環として伊豆文学祭が開催されることに伴い、伊豆市において文学まつりなどの関連事業を実施

★【拡充】美術館建設推進事業 938万円

- ・民間事業者の活用による複合施設型美術館の整備に向け、諸条件の整理を行い、事業者の公募を実施



▲市所蔵の美術品 横山大観 作「神州第一峰」



▲学校給食に地元栽培米を活用

【拡充】実学教育支援事業 245万円(再掲)

- ・外部のプロフェッショナル人材や地域で活躍する人材による講演や講話の実施や、森林環境教育、ふるさと学級の実施などにより、多様な生き方を学ぶ機会を創出

【拡充】学校給食地元栽培米活用事業 247万円

- ・学校給食に提供する白米について、年間を通じて全て地元栽培米を活用

重点目標5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

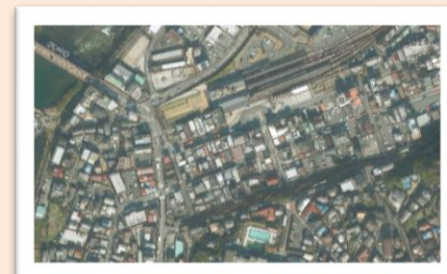
未来を切り拓くためのまちづくり

立地適正化計画策定事業 900万円

- ・修善寺駅前、八幡、青羽根、土肥等において、住宅や都市機能を誘引するための立地適正化計画を策定（R5年度策定完了予定）

★【拡充】修善寺駅前地区まちづくり検討事業 1,720万円

- ・主要地方道伊東修善寺線の道路改良に向けて、地域住民や企業、団体によるワークショップを実施するとともに、まちづくり基本計画を作成



▲修善寺駅周辺

地域力の向上

★【拡充】交通利用助成事業 9,318万円

- ・高齢者割引乗車証（いきいきパス）の購入補助
- ・小中学生の通学費補助、高校生のバス通学に対する補助に加え、中高生の部活動支援や学校間交流のためバス利用券（回数券）の配布を新たに拡充
- ・障害を持つ方へのタクシー・バス等の助成利用券の交付
- ・在宅高齢者へのタクシー・バス等の助成利用券の交付

【新規】交通ネットワーク検討事業 1,169万円

- ・自主運行バスの見直しや、新中学校開校に合わせた路線変更など、公共交通網の再編に向けた調査を実施

【新規】高齢者運転アシスト機器設置補助事業 30万円

- ・高齢者の自動車運転安全対策として、急発進抑制装置等の購入に対する補助を創設

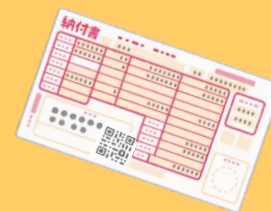


重点目標6 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

安定した歳入の確保

【拡充】収納対策強化事業 1, 177万円

- ・外部研修への参加による滞納整理滞納整理対策チームの更なる収納対策スキル向上
- ・収納の利便性向上に向けて、R5年度から始まるQR付き納付を周知するリーフレットを作成し、キャッシュレス納付を促進
- ・キャッシュレスや口座振替による納税をしていただいた方の中から抽選で賞品を配布



★【拡充】ふるさと納税促進事業 5億5, 507万円

- ・返礼品の商品競争力を向上させ、ふるさと納税のさらなる促進を図るため、返礼品に係る送料を市が負担
- ・更なる寄附額の増加に向けて、大手検索サイト等へのバナー広告表示によるWEBプロモーション、富裕層向け情報誌への広告掲載、各ふるさと納税ポータルサイト内への広告掲載などを新たに実施



【拡充】戦略的プロモーション事業 913万円

- ・伊豆地域への観光客等をターゲットに、子育て支援策や移住定住施策等のシティーセールスを実施
- ・R4年度に実施したSNS投稿キャンペーン第二弾として、Instagramを活用したフォトコンテスト等を実施
- ・市公式Instagramからの通年での情報発信や、プロモーションサポーター等への写真撮影講座を開催



重点目標6 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

徹底した歳出の抑制

【新規】未利用公共施設整理事業 3,034万円

- ・公共施設再配置計画に基づき、市営住宅東原団地を解体
- ・中伊豆温泉スタンドの廃止に伴う解体・撤去

【新規】借地解消事業 1,703万円

- ・恋人岬ステラハウス及び駐車場用地(借地)の購入
- ・新中学校開校に伴い不要となる修善寺中テニスコート用地の返還に向けた解体撤去工事

★【新規】公共施設民間活用推進事業 9,700万円

- ・だるま山高原施設(レストハウス、ロッジ、キャンプ場)の民間活用に向けて、現在の県有施設を市が購入
- ・虹の郷の民間活用に向けた運営手法や施設改修等の検討
- ・土肥地区温泉事業の公共施設等運営権制度(コンセッション)導入に向けた資産評価(デューデリジェンス)等の実施

包括的アウトソーシング事業 2億3,400万円

- ・窓口業務、事務補助業務や公共施設の保守管理業務の包括的アウトソーシングの実施

★【新規】マイナンバーカード普及促進事業 900万円

- ・マイナンバーカードの更なる普及に向けて、申請サポート体制を強化するとともに、マイナポイント第2弾終了後の動機付けとして申請者に商品券を配布

★【新規】自治体DX推進事業 6,413万円

- ・職員端末の更新及び庁内ネットワークの無線化、AI-OCR、RPAシステムの活用による行政事務の効率化
- ・住民票の写し等の各種証明書の自動交付機の導入
- ・高齢者のデジタルディバイド(情報格差)解消に向けたスマホ操作講習会や、一定期間のスマホ無償貸出の実施
- ・生活保護システムの標準化や、マイナンバーカードを利用したオンラインによる医療扶助資格確認の試験実施
- ・農業委員による農地利用状況等の現地調査作業のデジタル化



▲借地解消予定の恋人岬ステラハウス



4 組織の改編

●ふるさと納税スタッフを新設

・ふるさと納税寄附額の更なる増加を目指すため、総合政策部企画財政課に新たに「ふるさと納税スタッフ」を新設します。

総合政策部組織図

